

(10) 追跡評価書記載要領

整理 番号	
----------	--

追跡

平成17年度補助事業 事前評価書【検診車・機器等記載要領】

法人名	(社) 会		
事業名	平成17年度	検診車の整備	補助事業
事業費総額	, 千円	補助金額	, 千円
1. 事業の目的 (事前評価書に記載した事業の目的を記載する。)			
<p>記載例</p> <p>地域の住民の肺がんの早期発見及び予防を図るため検診車を整備する。平成 年 月 日に 検診車を 支部に配備した。現在配備後 ヶ月を経過し、月平均1,200人の検診を実施している。1年間に15,000人の地域住民の検診を実施することを目的とする。</p>			
2. 目的の達成状況 (上記目的に対し、どの程度まで達成されたと判断されるか記載する。)			
<p>記載例</p> <p>平成 年 月 日に、検収を行い 支部に配備して、 年 月現在5,000人を検診して、肺がんの早期発見に努めている。しかし、機種を選定に時間を要したため、当初計画の年間15,000人の検診者数を下回ってしまった。</p>			
3. 事業の必要性 (事前評価書に記載した本事業の意義、重要性、必要性等を記載する。)			
<p>記載例</p> <p>現在当法人では胸部検診車を2台所有しているが、1台は稼働後15年を、もう1台も10年を経過しており、共に老朽化が激しく、デジタルにも対応しておらず、また、疾病の発見率も低下しており、エリアを検診するためには現状ではかなり難しく、新たな胸部検診車の整備が必要である。</p> <p>現在 県 地区の検診車の整備は5台しかなく、現在の状況では、十分に地域の健康診断のエリアをカバーすることができない。よって検診範囲を広げ地域住民の健康を守るためにも少なくとも1台について、早急な整備が必要である。</p>			

(注) 当該補助事業が複数の事業で構成されている場合は、「 3. 事業の内容 」、「 4 . 事業完了後に発生した効果」を各事業項目毎に記載すること。

4. 事業の内容 (事前評価書に記載した事業の内容を記載する。実際の事業実施内容と、事前評価時の内容が異なった場合は、事後評価書に記載した内容を記載する。)

記載例

地域住民の肺がんの早期発見及び予防を図るため、胸部検診車を 支部に整備した。

5. 事業完了後に発生した効果 (事業完了後に発生したと考えられる事業の効果を記載する。) 波及効果も含む。ただし、直接的関連性の説明できる範囲で記載する。

記載例

新たな胸部検診車の整備により、胸部検診の精度の向上・効率化が図られ、検診体制が一層充実し、検診技術の処理能力も大幅に向上した。胸部検診車の導入により、検診活動はその処理能力と精度向上により強化・充実された。例えば、平成17年度1名、平成18年度3名と地域毎に検診状況を調査した結果、地域における肺がんの早期発見に大いに役立った。

また、平成16年度 地区13,500人、平成17年度 地区15,000人、平成18年度 地区15,800人と順調な受診者数の増加に繋がった。

整理 番号	
----------	--

追跡

平成17年度補助事業 事前評価書【事業費記載要領】

法人名	(財) 協会		
事業名	平成17年度	自転車競技の振興	補助事業
事業費総額	, 千円	補助金額	, 千円
1. 事業の目的 (事前評価書に記載した事業の目的を記載する。)			
<p>記載例</p> <p>我が国における自転車競技の発展、自転車競技者の底辺の拡大を図ると共に、スポーツを通じ青少年の健全育成を図るため 自転車競技大会を実施する。</p>			
2. 目的の達成状況 (上記目的に対し、どの程度まで達成されたと判断されるか記載する。)			
<p>記載例</p> <p>自転車競技大会は、平成 年 月 日～ 日に実施し、参加競技者数は当初予定していた300人を上回った。この競技大会の実施により、参加者の競技力の向上が見込まれ、今後更には自転車層の底辺の拡大が大いに期待される。</p>			
3. 事業の必要性 (事前評価書に記載した本事業の意義、重要性、必要性等を記載する。)			
<p>記載例</p> <p>自転車競技大会を開催することにより、国内及び海外のサイクルスポーツファンや地元住民が参加する場となり、自転車競技の普及推進を図るとともに、地域の活性化にも繋がる。サイクルスポーツを通じて 自転車競技大会が国際交流活動の場となり、サイクルスポーツの祭典の役割を果たしている。</p>			

(注)当該補助事業が複数の事業で構成されている場合は、「3.事業の内容」、「4.事業完了後に発生した効果」を各事業項目毎に記載すること。

4. 事業の内容 (事前評価書に記載した事業の内容を記載する。実際の事業実施内容と、事前評価時の内容が異なった場合は、事後評価書に記載した内容を記載する。)

記載例

以下により、自転車競技大会を実施する。

名 称： 自転車競技大会

実 施 日：平成 年 月 日～ 日

実施場所： 県 地域

参加資格： 歳以上

主 催： 協会、 県 後援 種目 ロードレース50km 定員 300人

ポスター、チラシ等印刷枚数を大幅に増やし、事前PRを徹底した。

台風の被害により開催日程を変更した。(平成 年 月 日～ 日から平成 年 月 日～ 日に変更)

5. 事業完了後に発生した効果 (事業完了後に発生したと考えられる事業の効果を記載する。) 波及効果も含む。ただし、直接的関連性の説明できる範囲で記載する。

記載例

競技参加人数が当初目標を300人としていたが、それより上回る350人の参加者があり、サイクルスポーツファンや地元住民の参加の場となった。また、国際交流活動の場となり、サイクルスポーツの祭典の役割を果たした。その結果、参加者の競技力の向上に繋がり、サイクルスポーツ人口の増加が見込まれ、今後の自転車競技者層への底辺の拡大に繋がった。

また、大会参加者にアンケート調査を実施して次年度の大会をより良いものにするために反映させている。

平成16年度参加者180人、平成17年度参加者350人、平成18年度参加者380人のように確実に年々参加者の増加が認められている。

また、市場調査 統計により同類の大会も含めて調査を実施した結果、サイクル人口が 人から 人へと確実に増大していることが認められた。